

『子どもたちの安全・健康のために…』

1. 園外保育・散歩について

“何かいつもと変わった様子があった場合には、必ず登園時にお知らせください”

当園では、自然の中で子どもたちが季節を感じたり、地域の方々の働く姿を見たり、直接園内にはない環境に関わることができる園外保育・散歩も子どもたちにとって大切な活動のひとつと考えています。

一方で、皆様も報道等でご存じの通り、保育園等での園外保育・散歩中の事故（交通事故等）が多発、また、無差別殺傷事件も増えたり、日本各地で大規模地震に対する注意喚起もされている状況もあります。こうした状況を踏まえ、当園では園外保育・散歩のさらなる安全確保の方法を検討し、昨年度より次の通りに実施しています。

(1) 保育園の敷地外において行う全ての保育活動については、必ず前1ヶ月から2週間までに下見をし、安全確認を行います。必要な場合は、直近に再度下見を行います。

(2) 子ども的人数に関わらず、1グループにつき、緊急時に対応すること（緊急連絡者・安全確保・応急手当者・AED手配）も想定した複数の職員が同行できない場合は、散歩には出かけません。

(3) 下見をもとに事前に引率職員全員で打合せを行います。

➡ その際、当日体調が心配な子、いつもと様子が違い配慮が必要な子等についても共有します。そのことも含め、引率職員でどんな対応ができるか確認し、安全確保できないと判断した場合は活動を変更・中止することもあります。（当該児は園に残り他クラス等で保育することもあります。ご承知おきください。）

そのため、**何かいつもと変わった様子がある場合は、必ず登園時にお知らせください。園外保育・散歩の予定は事前に各クラス前の掲示板等で保護者へもお伝えします。**

2. 登降園時について

“子どものいのちを守るのは大人の責任です”

保育園の役割のひとつとして、保護者同士が同じ子育て中の仲間として繋がりを持てるきっかけになればと願っています。しかし、コロナの影響もあり、なかなか集まる機会が減ってしまった…保護者の皆様だって、どこかでちょっと愚痴をこぼしたり、何か情報交換をしたりしたいだろうな…。そう思うと降園後の時間、丁度会えた保護者同士で交流できることは、とても貴重で大切に考えたいと感じています。

しかし、この時間帯の子どもたちの動きには要注意です。大好きなお家の方がお迎えにみえて、嬉しくなってそのまま車道へ走っていく…なんてこともあり得ます。子どもたち自身では、まだまだ身の安全を十分には守ることはできません。せっかくの楽しい時間だったはずが取り返しのつかないことにならないように、**降園時の引き渡し後、或いは、登園時の駐車場からの移動は、保護者の責任でお子さんの安全確保をお願いします。「車から降りたら必ずお家の人と手を繋ぐ」「一緒に移動する」習慣をつけていきましょう。**

<こんな姿は危険です>

カバンを背負ったままで遊具で遊ぶ

アメ等食べ物を口に入れながら登園する

保護者から離れて、ひとりまたは友達と園外を走っていく 他

窒息の恐れがあります

③。園での汚れ物対応について

“原則、お子さんの持ち物の管理は保護者をお願いします”

保育中に起こる以下の状況については、次のように対応します。子どもたちが存分に遊び、自分で身のまわりのことをやってみる中での育ちを大切にしたい思いから、衣類が汚れたり、様子で園でも洗濯させていただくことがあります。また、保育中ということから簡単な対応となること等ご理解いただき、園にきて来る衣類の判断をお願いします。何かありましたらお知らせください。

状況	対応
尿	<ul style="list-style-type: none"> ・そのままビニール袋に入れて持ち帰る(衣類・シーツ・おねしょシーツ) ・布団…園で干すまたは保護者の判断で持ち帰り対応していただく
普通便 ※手袋着用	<ul style="list-style-type: none"> ・パンツ…なるべく便を便器に落とし、<u>汚物用水道にて水洗い</u>し、ビニール袋に入れて持ち帰る ・オムツ…なるべく便を便器に落とし、ビニール袋に入れ、<u>口をしっかりと縛り</u>持ち帰る(おしっこのオムツのビニール袋に入れて二重にする)
下痢・嘔吐 ※手袋着用	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染した衣服等は、できるだけ汚物を取り除き、<u>そのままビニール袋に入れて</u>持ち帰る。または、<u>保護者の意向を確認し、園で処分</u>する <p>※『嘔吐や下痢で汚染された衣類の消毒方法』用紙を保護者へ渡す</p>
鼻血等の出血 ※手袋着用	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>汚染箇所を【水洗い】</u>し、ビニール袋に入れて持ち帰る <p>※お湯では血液が固まり落ちにくい</p>
食べこぼし	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児エプロン…汚れがひどい場合は<u>【水洗い】</u>をしビニール袋で持ち帰る 米粒程度であれば、取ってそのままビニール袋で持ち帰る ・以上児ナフキン…牛乳や汁物等をこぼした場合、汚れ具合により水洗いをし、ビニール袋に入れ持ち帰る ・その他衣類…そのままビニール袋に入れて持ち帰る
泥	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の上着…拭き落とししたり日向等で干し汚れを払う ・手袋等防寒具…上着同様 汚れにより水洗いし、降園時に間に合えば干して乾かし、身に付けて帰れるようにする ・春～夏季…『泥んこ遊び用の服』を家庭でご用意いただき、そのまま持ち帰る(カラー帽子は園で洗濯) <u>※洗剤が必要な場合は、極少量で</u> ・その他の衣類…汚れがひどい場合は水洗いし、ビニール袋に入れて持ち帰る <u>※同上</u> ・靴…汚れがひどい場合は、日向等で干し汚れを払う
汗	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類…そのままビニール袋に入れて持ち帰る ・カラー帽子(きく～以上児)…毎日持ち帰り家庭で管理していただく <u>※R4～変更</u> <p>※長保で使用する子どものものは、園で洗濯する等、必要に応じて対応する</p>

④。個人情報の扱いについて

“個人情報を許可なく使用することは禁止です”

保育園は、子どもたちが安心して生活できる場所でなければなりません。子どもたちに望ましくない影響が起りうることはお控えください。子どもたちや家族、園職員の写真等を許可なく撮影する、撮影した写真や個人情報等を許可なく使用することは禁止です。保育園では、園での子どもたちの様子を保護者や地域の皆様へお伝えするために、おたよりに添付し配布や掲示をしたり、TVや新聞社等の取材が入ったりすることがあります。何かご事情がある場合には、配慮いたしますのであらかじめお知らせください。